

選択したシラバスのプレビュー画面です

平成26 年度

[↑ 操作ボタン](#)

講義科目名称： 国際協力学

授業コード： 52043

英文科目名称： ---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
後期	講義	2単位	
曜日時限			
後期: 金曜2限			
配当学科・学年			
人社2			
担当教員			
岡島 克樹			

授業テーマ	国際協力とは何かを学ぶ
講義概要	前期で、世界では何が起こっているのか、日本と世界、とりわけ途上国と呼ばれてきた国々とはどのようにつながってきたのかを考えたあと、後期では、日本と途上国とのつながりのなかから、国際協力をとりあげ、その概要について学ぶ。より具体的には、国際協力の定義やそれを行う動機や目的、政府やN G O（非政府組織）が行う国際協力活動のそれぞれの特徴、国際協力事業の企画・評価について学ぶ機会を提供する。
到達目標	国際協力とは何かについて、その概要が理解できる。
評価方法	(1) 後期末レポート（70%） (2) 外部講師来訪時に課す小レポート（1～2本）（30%）
評価基準	(1) 国際協力の定義や隣接概念との相違が理解できる。 (2) 国際協力を行う動機に関する諸説を理解できる。 (3) 国際協力がその達成を目指す目的の変遷について理解できる。 (4) 日本のO D AやN G Oによる活動の特徴が理解できる。 (5) 国際協力で用いる重要な概念（「参加」「エンパワメント」等）について理解が深まる。 (6) 国際協力事業の企画や評価を行う際の手法の概要を理解できる。
テキスト	なし
参考書	必要に応じて紹介する。
履修上の注意	(1) 「地域研究実習」でカンボジアスタディツアーに出かける学生にとって本講義はスタディツアーの事後学習の一部をなすものである。そのため、スタディツアーへの参加を希望している学生は本講義も履修するようにしてください。 (2) 本講義では、国際協力の現場で活動されてきた方を外部講師として招き、レクチャーを行っていただくことがある。その際は、その外部講師の方のスケジュールによってシラバスに書かれた授業の内容が前後することがあるので、あらかじめ了解しておいてください。
準備学習	外部講師による授業の際には、レポート課題を出すので、自宅で行い、次回の授業に提出するようにしてください。
オフィスアワー等	授業後の時間を利用して質問等に対応する。また、毎回の授業終了に感想表への記入・提出をお願いするので、クラス全体にとって重要だとと思われる質問が出た際には、次の回にこれを紹介し、受講者全員にフィードバックする。
備考・メッセージ	

授業計画			
回数	担当教員	授業内容/到達目標	備考
1	岡島	オリエンテーション（本講義全体の学習到達目標が理解できる）	
2	岡島	国際協力の定義および隣接・類似概念との関係（本講義の中心となる「国際協力」の定義や「国際貢献」などとの関係が理解できる）	
3	岡島	南北逆転時代においても国際協力を行うのはなぜか（国際協力を行う動機に関する諸説の内容が理解できる）	
4	岡島	国際協力の目的の変遷—経済開発・社会開発・人間開発・人間の安全保障（その1）（「開発」概念の変化が理解できる）	
5	岡島	国際協力の目的の変遷—経済開発・社会開発・人間開発・人間の安全保障（その2）（「開発」概念の変化が理解できる）	
6	岡島	国際協力のアクターの概要およびN G Oの活動（前期に行った授業を復習しつつ、国際協力にはどのような人がかかわっているのか、とりわけO D Aの特徴がより深く理解できる）	
7	岡島	国際協力のアクター—J I C Aの場合（前期に行った授業を復習しつつ、国際協力にはどのような人がかかわっているのかを理解できる）（外部講師）	
8	岡島	国際協力で語られる重要概念—「参加」とは何か（国際協力を理解するうえで重要な概念が理解できる）	
9	岡島	国際協力で語られる重要概念—「エンパワメント」とは何か（国際協力を理解するうえで重要な概念が理解できる）	
10	岡島	国際協力で語られる重要概念—「人権」とは何か（国際協力を理解するうえで重要な概念が理解できる）	
11	岡島		

		国際協力事業の企画手法 P C M ワークショップ（その 1）（国際協力を事例として、事業企画手法とは何か、その概要が理解できる）	
1 2	岡島	国際協力事業の企画手法 P C M ワークショップ（その 2）（国際協力を事例として、事業企画手法とは何か、その概要が理解できる）	
1 3	岡島	国際協力事業の企画手法 P C M ワークショップ（その 3）（国際協力を事例として、事業企画手法とは何か、その概要が理解できる）	
1 4	岡島	「よい」国際協力事業とはどういうものかー評価 5 原則とシエムリアップ合意を軸に（国際協力を事例として、事業評価とは何か、その概要を理解することができる）	
1 5	岡島	総括	

閉じる